

教育方針	校訓「友愛、責任、自立」のもと、学校・家庭・地域が一体となった体験活動や姫路特別支援学校との交流及び共同学習を通して、「豊かな心」や「共生の心」を育むとともに、確かな学力や自律的に生きる力を培い、夢の実現に努力を続ける、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する
重点目標	1 授業力向上を生徒指導につなぐ「わかる授業」づくりに努め、確かな学力の確立を図る 2 就業体験(インターンシップ)を導入し、キャリア教育の充実を図る 3 生徒指導と生徒支援の充実を図る 4 保護者・地域との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する 5 姫路特別支援学校との交流及び共同学習を推進し、「共生の心」を育む

(評価)	
4 よくできた	A 平均 4.0～3.4
3 できた	B 平均 3.3～2.7
2 あまりできなかった	C 平均 2.6～2.0
1 できなかった	D 平均 1.9以下

(評価)	
昨年度平均	2.95
今年度平均	3.08

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価(1～4)割合と学校関係者評価
学校運営	開かれた学校づくり	地域への貢献	1	地域の行事や近隣の施設等に生徒会や部活動の生徒が参加し、地域に貢献し、開かれた学校づくりを推進する。	3.0	3.5	3.5	 ・地域行事への積極的な参加に地域としては大変感謝している。地域の力になって貢献してほしい。 ・地域の清掃や草刈りなどは地域として有難い。
			2	PTA総会や学校ホームページ(月1回更新)、学校通信、学年通信を通じて、学校の情報を積極的に発信する。	3.5	3.4	3.5	 ・学校通信「夢通信」や学校行事のお知らせなど、地域に情報発信してもらって助かっている。今後も継続を。 ・健康診断後の生徒の受診をPTA総会で保護者に協力要請する。PTAも協力して保護者を啓発する。
		3	オープンスクール、オープン・ハイスクール、中学校訪問などを通じて地域に開かれた学校づくりを推進する。	3.5	3.6	3.5		
		4	学校評議員会を年間2回開催し、各評議員からの意見を公表し、来年度の学校運営に反映する。	3.2	3.1	3.2	 ・来年度、分教室が全学年揃うのでその保護者の意見も聞く機会を持ってほしい。	
	生徒指導	生徒指導体制の充実	5	明確な生徒指導基準を設定し、生徒・保護者・教職員間でその共有を図り、指導の徹底を目指す。	3.0	2.9	2.9	
			6	外部講師等の活用により、薬物乱用防止、DV防止、情報モラル啓発など社会の変化に対応した指導を行う。	3.2	2.7	3.2	 ・外部講師を招き、有意義となったのではないかと。
			7	生徒指導部中心に登下校指導を行い、生徒のマナー等の向上を図り、交通安全指導や通学路の安全確保に努める。	2.7	3.0	3.1	 ・通学マナーが悪い生徒もいる。指導方法にさらに工夫や改善をしてはどうか。(信号を守らない・携帯電話をして運転・スピードの出しすぎ・公道と私道の区別ができていないなど) ・通学マナーは以前と比較して改善されている。今後も継続して指導をお願いしたい。
			8	全校集会等ではプロジェクターなどを活用して、生徒の視覚に訴える等、より効果的な指導を展開する。	3.3	2.9	3.0	

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価(1~4)割合と学校関係者評価	
学校運営	生徒指導	基本的生活習慣の確立	9	規則正しい生活のリズムを整えさせ、心身ともに健康な生活を送ることができる習慣を培うとともに遅刻指導の充実を図る。	2.6	2.3	2.4	 ・遅刻の多い生徒への指導に工夫をしてほしい。 ・遅刻の多い生徒など、保護者にもっと協力を要請してほしいか。	
			10	イエローカード等の活用を図り、ルール(服装・頭髪)やマナー等を遵守させ、規範意識を育てる。	C	C	C	 ・公園のトイレの使い方やマナーが悪かったが改善された。 ・来年度はNHKドラマの影響で観光客も多い、その人たちへのマナー等も心掛けてほしい。	
		生徒の内面の理解を図る指導の工夫	11	生徒との個人面談を早期に実施し、内面理解を図り、キャンパスカウンセラー等による研修を実施し、効果的な指導法の共有を図る。	3.1	3.1	B	B	 ・体罰やいじめのアンケートは無記名の方が生徒は記入しやすいのではないかと。
			12	生徒・保護者に対して、教育相談に関する情報を提供し、心の教育を充実する。	3.0	3.0	B	B	 ・カウンセラーの利用状況はどうか、保護者への周知の徹底をお願いしたい。
			13	生徒指導部と学年団が協力し、別室指導、継続指導等の効果的な指導を行い、心のサポートを継続的に行う。	2.8	2.9	B	B	
		進路指導	進路指導体制の充実	14	LHR、総合的な学習の時間など各学年段階に応じた計画的な進路指導計画を作成し、体系的な進路指導を実施する。	3.0	3.0	B	B
	15			進路指導部と学年が連携し、進学・就職に関する有効な情報を生徒・保護者に提供する。	2.7	2.6	B	C	
	個別指導の充実		16	外部講師を活用した進路別学習会やオープンキャンパスや企業見学への参加等、体験を通して進路意識を高める。	3.2	3.1	B	B	
			17	進路実現に向けて、補習授業や模擬試験、面接練習などを効果的に実施する。	3.2	3.2	B	B	 ・AO入試合格者が合格後、授業に集中しないのではないかと。対応を考えてはどうか。

			18	挨拶の仕方、話し方、聞き方などの就 労支援(ソーシャルスキルトレーニ ング)を実施し、社会性を培う。	B	C	B	
--	--	--	----	--	---	---	---	--

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価(1~4)割合と学校関係者評価
学校運営	教職員の資質の向上	指導力の向上	19	生徒への授業アンケート・研究授業等を利用して、実践的な指導力の向上を図り、「わかる授業」づくりに努める。		2.8	3.0	 ,17% ,68% ,15% ,0%
			20	カウンセリング研修や救急救命法など外部講師の活用や他校の有効な情報を共有化するなど校内研修の充実を通して、教員の資質向上を図る。		3.2	3.0	 ,17% ,68% ,15% ,0%
	危機管理体制の整備	実効ある危機管理マニュアルの策定	21	防災マニュアル等を作成し、校内の組織化と役割分担を明確化する。また、病院、警察など関係諸機関と連携する。	2.8	2.9	2.9	 ,12% ,71% ,15% ,2%
			22	前年度の課題や学校の重点目標を踏まえ、学年・学級で目標を立て、その実現に向けて努力する。	2.9	2.8	3.1	 ,22% ,66% ,10% ,2%
	学校運営全般	学年・学級経営	23	保護者会・三者面談・家庭電話連絡の実施など、家庭との連絡を密にして、信頼される学校づくりを推進する。	3.2	3.1	3.3	 ,37% ,61% ,2% ,0%
24			通学マナー指導や地域の環境整備活動、学校行事などへの積極的な参加協力により、教育目標の具体化を図る。	3.0	3.1	3.2	 ,27% ,66% ,5% ,2%	
教育課程	自ら学び、自ら考える力の育成	体験的な学習の展開	25	ボランティア実践やふれあい育児体験など、地域の教育資源を生かし、本校の特色を生かした体験的な学習の充実を図る。	3.4	3.3	3.4	 ,44% ,54% ,2% ,0%
			26	漢字検定や英語検定、情報処理検定等の資格取得を目指し、生涯を通じて学び続ける意欲と態度を育成する。	3.3	3.2	3.4	 ,44% ,54% ,2% ,0%
	基礎・基本の定着	わかる授業の展開	27	定期考査や模擬試験等によって、生徒の学力を的確に把握し、少人数授業や習熟度別授業など効果的な指導を実施する。	3.0	3.1	3.1	 ,22% ,68% ,10% ,0%
			28	生徒の多様な興味・関心、能力・適性、進路希望など生徒のニーズにあった学習テーマを設定し、実践する。	2.8	2.8	3.0	 ,24% ,56% ,20% ,0%
	個に応じた学習指導の徹底	指導形態の工夫	29	授業アンケートを通して、授業に対する振り返りの機会を設け、能力に応じて補習や補充を行うなど、指導方法に工夫を加える。	2.9	2.8	3.0	 ,29% ,49% ,20% ,2%
			30	学校行事やボランティア活動において、生徒会等が企画、運営にかかわり、生徒の自主・自立の意識を高める。	3.3	3.2	3.1	 ,29% ,56% ,15% ,0%
	特別活動	生徒の自主的な活動の活性化	30	学校行事やボランティア活動において、生徒会等が企画、運営にかかわり、生徒の自主・自立の意識を高める。	3.3	3.2	3.1	 ,29% ,56% ,15% ,0%

領域	評価の観点	評価項目	No	実践目標	前年度最終評価	中間評価	今年度最終評価	評価(1~4)割合と学校関係者評価
課題教育	防災・安全教育	防災・安全教育の充実	31	自然災害や不審者の侵入など不測の事態に適切に対応できるように、避難訓練や防災・安全教育の充実を図る。	2.7	2.8	2.7	
					B	B	B	
	人権教育	人権教育推進体制への取組	32	学年と人権教育委員会が連携し、ホームルームや講演会などを活用して計画的な人権教育を展開する。	2.7	2.6	2.9	
					B	C	B	
	人権教育	人権意識の確立	33	自他の命を大切に、自他に対する肯定的な態度を育てるなど、共生社会に向けて、人権に対する理解と意識を高める。		2.6	2.9	
						C	B	
	情報教育	情報活用能力の育成	34	情報機器の基本的技術及び情報活用能力を育成し、情報処理検定などの資格取得を目指す。	3.1	3.0	3.3	
					B	B	B	
	特色ある教育課程の編成	35	興味・関心や進路希望等に対応した類型を設置し、学校設定科目や多様な選択科目を設定し、特色化を推進する。		3.2	3.0		
				B	B	・保育所での実習はぜひ継続してほしい。子供たちも地域行事等で世話になった高校生と会うととても喜ぶ。		
	外部講師の活用	36	福祉・情報・商業・保育・医療看護系に応じた選択科目の設置や外部講師の招聘など特色ある教育を展開する。		3.1	3.1		
				B	B			
外部講師の活用	37	外部講師を活用した授業や部活動指導、講演会などを通して、生徒の多様な興味・関心に応える教育を展開する。		3.0	3.0			
			B	B				
就業体験(インターンシップ)	38	キャリア教育や就業体験(インターンシップ)などの充実を図り、主体的に進路選択ができる姿勢や能力を育成する。	3.1	3.2	3.1			
			B	B	B	・インターンシップは生徒のモチベーションを高める貴重な経験の場である。ぜひ、継続してほしい。		
交流及び共同学習の推進	39	交流及び共同学習や体験学習を通じて、共生の心を育み、自己有用感や自尊感情を育成する。	3.0	3.4	3.3			
			B	A	B	・分教室との交流及び共同学習の情報が姫路特別支援学校の本校に伝わってこない。もっと発信してほしい。 ・姫路特別支援学校本校の保護者も交流行事に参加できることをもっと宣伝してほしい。 ・来年度、分教室が3学年すべて揃うが特別な計画はあるか、ぜひ企画してほしい。 ・姫路特別支援学校本校の交流会に姫路別所高校の部活動も参加して欲しい。		